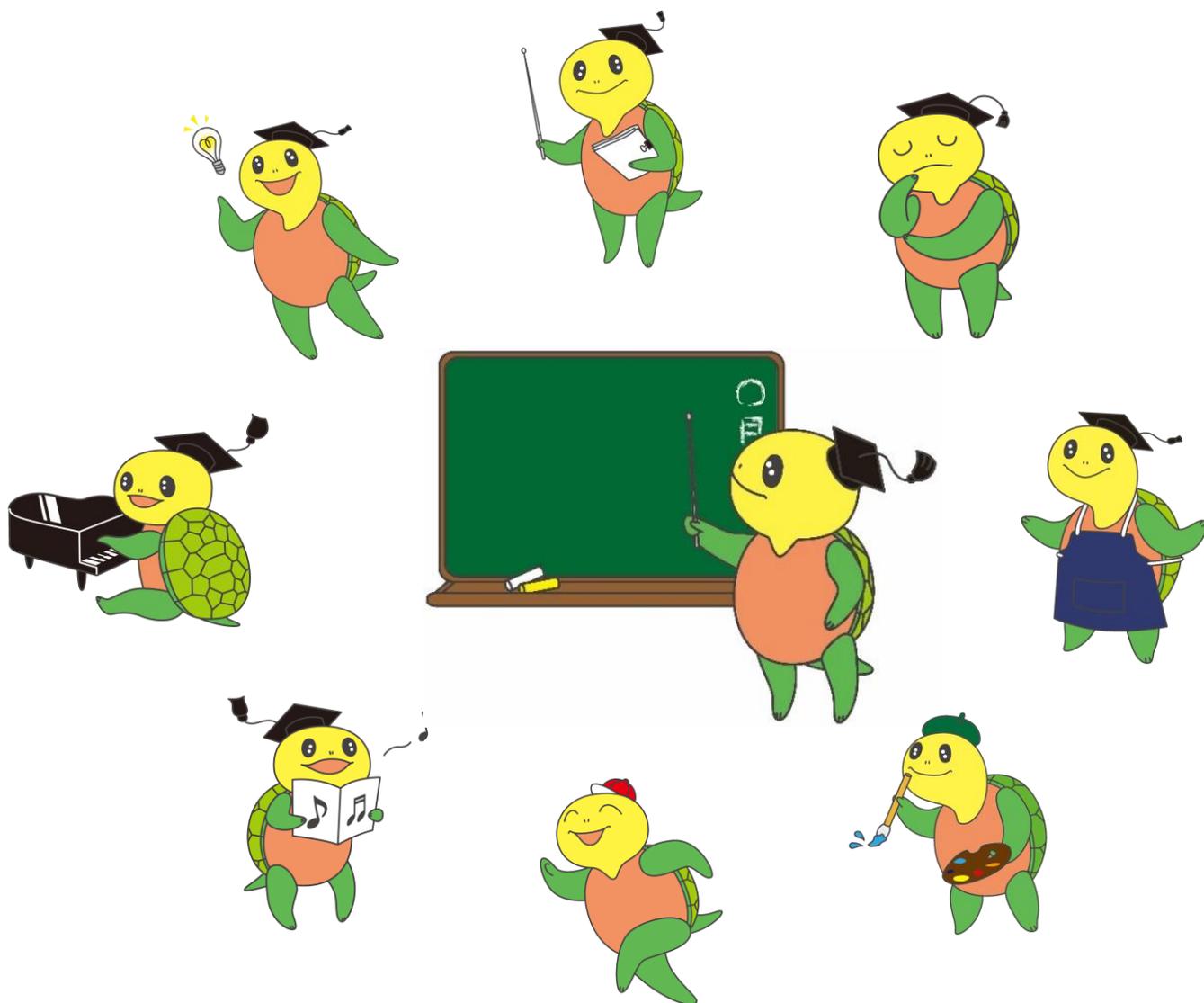




小学校初任者のための 授業づくりガイド ～授業づくり はじめの一歩～



令和8年4月

神奈川県立総合教育センター

こんな授業がしたい

「ごん、おまいだったのが。いつも、くりをくれたのは。」

「ごんぎつね」から「ごん」と、呼び方が変わる。兵十の気持ちが変化したしゅん間。

火なわじゆうをばたりと、取り落とししました。

兵十のおどろきが表現されている。

まとめ

兵十の気持ちは、どのように変わったのだろうか？

自分の考え

語句に注目して登場人物の気持ちの変容を読み取る授業の板書です。
(3・4学年)の、C読むことEに基
いて設定しています。

「つぐない」ではなく、「いろいろな持ってきいていること」に気づいた。

□ えっ、ごんだったのか。それを知らずにおまえをうってしま
った。

○ やつと気づいてくれた。おれの気持ち
がとどいた。

□ 取り返しのつかないことをしてしまった。ごん、ゆるしてくれ。

ごんがいろいろ持ってきたことに気づき、兵十の気持ちにくしみから後かいへ変わる。

ICTを活用して、挿絵や写真、児童の考えが書かれたノートやワークシートなどを提示して共有することもできますね。必要に応じてICTをバランスよく取り入れ、板書計画を立てましょう。

1 始めよう！準備

1 授業を見直してみよう

- ・自分の授業の現状と課題を把握しよう
- ・「学級づくり」と「授業づくり」の2つの視点から分析していこう

2 授業づくりにつながる学級づくりを考えよう

- ・児童一人ひとりの実態を把握し、理解しよう
- ・児童とともに、目指すクラスの目標を決めよう
- ・児童とともに、クラスのルールを決めよう
- ・仲間意識のある、児童たちの関係づくりをしよう

3 わかりやすい授業づくりをしよう

- ・教材研究をしよう
- ・授業を構想しよう
- ・授業を実践し、振り返り、改善しよう



ごんぎつね 第六場面

めあて

ごんに対する兵十の気持ちが、
どのように変わったかを考えよう。

ごんや兵十の気持ちが
表れている言葉・文章

その明るる日も

毎日何度も。

引き合わないのに
なぜ何度も行く？

こないだ、うなぎを
ぬすみやがった、あ
のごんぎつねめが

ごんへの強にくしみ

○ごんの気持ち
□兵十の気持ち

○今日こそは、兵十に
気づいてもらいたい。

神様の仕わざだと思われて
いることが、ごんにとって
すごくざんねん。

対比

□今日は何のいたず
らをしに来たんだ。
にくらしい、ごん
ぎつねめ。

2 つくろう！授業計画～授業構想～

- 1 各単元、各時間で児童に身に付けさせたい力を決めよう
・学習指導要領、学校教育目標や児童の実態を基にして設定しよう
- 2 指導と評価の計画を立てよう
・児童の実態や年間指導計画・年間評価計画を基に設定しよう
・指導内容と評価規準を設定しよう
- 3 授業をつくろう
・本時で「身に付けさせたい力」が身に付くよう、学習活動を計画しよう

3 振り返ろう！授業

学習者（児童）の視点と授業者（教師）の視点から授業を振り返ろう
児童の学習改善につながるものと教師の指導改善につながるものを行き来しながら、授業を振り返ったり改善したりしていこう

1 始めよう！準備

現状と課題の把握・分析を
してみましょう。



初任者のA先生と一緒に

1 授業を見直してみよう

自分の現状と課題を把握しよう

A先生の 現状と課題	①授業の進度がそろわない ②集中力を持続させられない ③発問の工夫が難しい ④板書の仕方が難しい ⑤授業のルールを決めたり守らせたりすることができない
自分の 現状と課題	?



A先生は、自分の現状と課題を、下の図を参考に学級づくりと授業づくりの2つの視点から、このように分析したようです。あなたはどうか分析できそうですか。

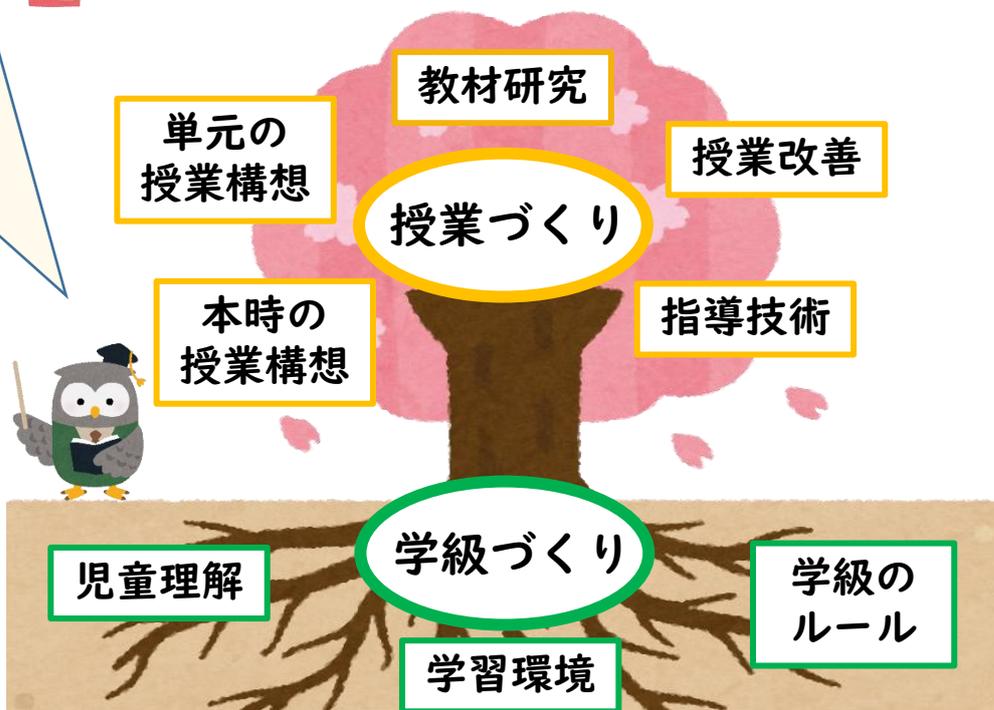


A先生	①児童理解、本時の授業構想 ②学習環境、本時の授業構想 ③児童理解、単元の授業構想 ④教材研究、単元の授業構想 ⑤学級のルール、指導技術
自分	?



学級づくりに関することと、授業づくりに関することの
2つの視点から見直してみよう！

「単元(題材)」と表記されることもあります。
単元とは、各教科の内容をある程度のまとまりで捉えた
ものです。教科・科目によっては「単元」ではなく「題材」
として内容のまとまりを捉えることもあることから、



「授業づくり」には、その土台となる
「学級づくり」が欠かせません。



2 授業づくりにつながる学級づくりを考えよう

学習環境

- ・安心して発言できる雰囲気づくり
- ・刺激の少ない掲示（教室前面の掲示量の調整等）
- ・授業の流れの「見える化」

など

学級づくりのポイント

- ・意識して見る
- ・多面的に情報を集める
- ・共感し、傾聴する
- ・一人ひとりを理解する

児童理解

など

- ・聞き方、話し方
- ・授業の始め方、終わり方
- ・学習用具についてのルール
- ・話合いのルール

学級のルール

など

A先生	<ul style="list-style-type: none"> ・1日1回は学級の児童一人ひとりに声をかける ・黒板の周りや掲示物を整理する ・聞き方、話し方のルールを決める
自分	



学校や学年のルールを踏まえて自分なりの「学級づくり」のポイントを考えてみましょう。

3 わかりやすい授業づくりをしよう

教材研究

- ・教材のよさやその教材を使う理由を考えましょう

単元の授業構想

- ・単元を通して「身に付けさせたい力」が身に付くよう、学習内容や指導と評価のポイントを把握しましょう

「指導と評価の一体化」を意識しましょう。



本時の授業構想

- ・1時間の見通しをもちましょう
- ・板書計画を立てましょう
- ・導入を工夫しましょう
- ・発問を工夫しましょう
- ・ICTの活用を工夫しましょう

指導技術

- ・話し方、指示、発問
- ・話合い活動の指導
- ・板書やノートの指導
- ・個に応じた指導
- ・ICTの効果的な活用
- ・児童の学ぶ姿の見取り

等

授業実践

授業改善

- ・自分の授業を分析し、改善していきましょう

授業づくり参考資料

- ・子どもが輝く学級経営につながる学級担任の指導ポイント



(神奈川県教育委員会)

- ・ICTを活用した学びづくりのための手引き（小・中学校）



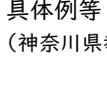
(神奈川県教育委員会)

- ・小学校の先生のための体育科授業づくりハンドブック



(神奈川県立総合教育センター
体育指導センター)

- ・学習評価（義務教育諸学校）の概要・具体例等



(神奈川県教育委員会)

- ・NITS動画教材



(独立行政法人教職員支援機構)

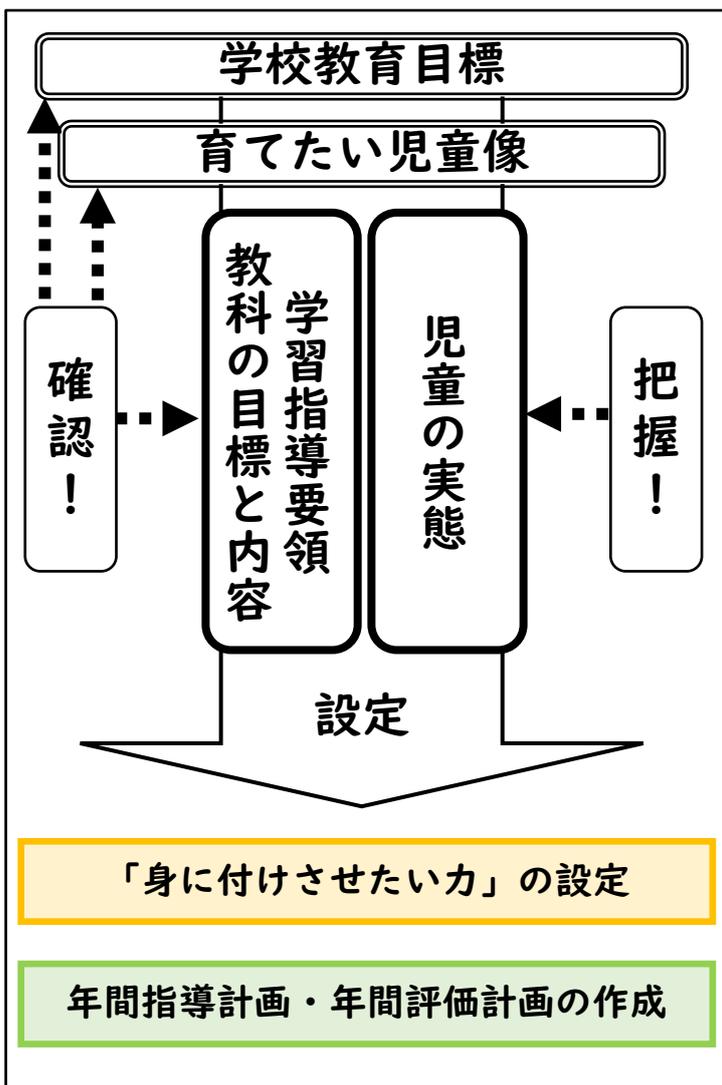
2 つくろう！授業計画～授業構想～

1 「身に付けさせたい力」を設定する

①「身に付けさせたい力」の設定

②年間指導計画作成

学習指導要領、学校教育目標や児童の実態を基に設定し、作成する

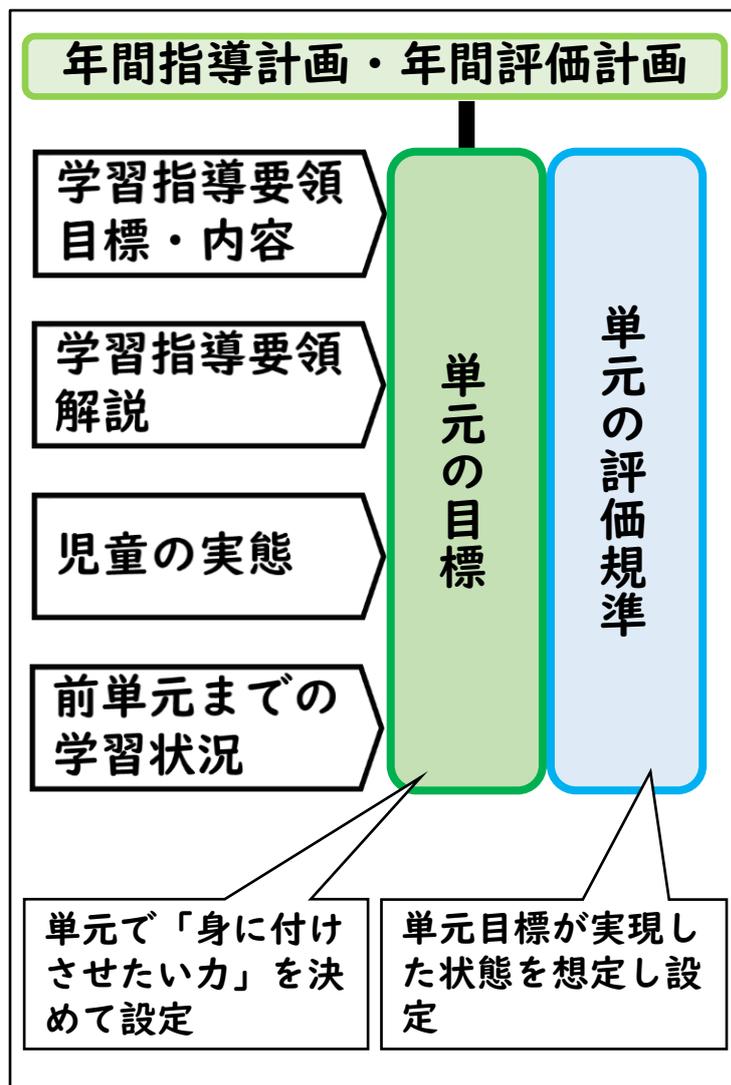


2 内容のまとまりを単元として、単元の

③単元の目標設定

④単元の評価規準設定

児童の実態や年間指導計画・年間評価計画を基に設定する



Check !

- 何を学ぶかが明確になっている
(「身に付けさせたい力」が明確になっている)
- どのように学ぶかが明確になっている
(目標、評価規準が明確になっている)
- 児童の実態に基づいている

Check !

- 年間指導計画の中での各単元の位置付けや単元間の関連性を理解し、適切な内容となるよう配慮して単元の目標を設定している
- 観点ごとに具体的な児童の姿を想定して単元の評価規準を設定している



授業構想をする際は、「指導と評価の一体化」を常に意識し、指導計画と評価計画を一体のものとして考えましょう。

<参考>

「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料
(国立教育政策研究所)



授業構想をする

⑤ 「指導と評価の計画」を作成

指導内容と評価規準を設定する

1 単元の目標

- 学習指導要領の内容、学習指導要領解説等を踏まえて作成する。
- 児童の実態、前単元までの学習状況等を踏まえて作成する。

2 単元の評価規準

- 「内容のまとまりごとの評価規準」の考え方を踏まえて作成する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

3 指導と評価の計画

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
		○「努力を要する」状況(C)への手立て等を想定し、示す。	[知識・技能] ワークシート ・○○▼▼…を理解している

- 各時間の具体的な学習活動を構想する。

- 評価場面や評価方法等を計画する。
⇒単元のどの段階でどの評価規準に基づいて評価するかを決定する。
- どのような評価資料(児童の反応やノート、ワークシート、作品など)を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを示す。

Check !

- ③、④を基にして、単元の指導計画を組み立てている
- 観点ごとの評価規準を単元全体で、バランスよく配分している
- 授業の組立てに沿って、具体的な評価規準を設定している
- 「努力を要する」状況の児童に対する手立てを考えている

3 本時の授業構想をする

⑥ 本時の学習活動を計画

「身に付けさせたい力」が身に付くよう
本時の学習活動を計画する

学

はじめに

- ・めあてや学習課題を共有し、本時の見通しをもたせる
- ・具体物や資料等から、学習に対する興味・関心を高めさせる

習

学習活動の中で

- ・各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる活動に取り組みさせる
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を意識して活動に取り組みさせる
- ・ICTを効果的に活用するなどして、思考を広げたり深めたりさせる

活

振り返るときには

- ・わかったこと、できたこと、考えたことなどを自分の言葉でまとめさせる
- ・学習の中での自身の変容や気づきを、自分の言葉で振り返らせる

動

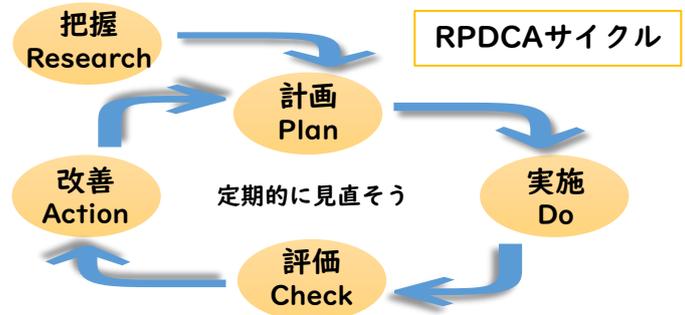
Check !

- 本時の見通しをもたせる活動や、興味・関心を高める活動を計画している
- 各教科等の「見方・考え方」を働かせる活動を計画している
- わかったことや考えたことなどを自分の言葉でまとめる活動や、自身の変容などを自分の言葉で振り返る活動を計画している

3 振り返ろう！授業



学習者(児童)の視点と授業者(教師)の視点から授業を振り返り、授業改善を図ります。



児童の学習改善につながるもの

- 学ぶことに興味や関心をもっていたか
- 自己のキャリア形成の方向性と関連付けていたか
- 見通しをもっていたか
- 粘り強く取り組んでいたか
- 自分の学習活動を振り返って次につなげていたか



主体的な学び

- 児童同士の協働を通じて、自分の考えを広げ深めていたか
- 教職員との対話を通じて、自分の考えを広げ深めていたか
- 地域の人との対話を通じて、自分の考えを広げ深めていたか
- 先哲の考え方を手がかりに考えていたか

対話的な学び

- 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせていたか
- 知識を相互に関連付けてより深く理解していたか
- 情報を精査して考えを形成していたか
- 問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かっていたか

深い学び

教師の指導改善につながるもの

- 既習事項を振り返らせたか
- 具体物を提示して児童の関心を引きつけたか
- 児童が明らかにしたくなる学習課題を設定したか
- 児童が自らめあてをつかむようにしたか
- 学習課題を解決する方向性について見通しをもたせたか
- 児童が自分の考えをもつようにしたか
- 児童の思考を見守ったか
- 児童の思考に即して授業構想をしたか
- 児童の考えを生かしてまとめたか
- その日の学びを振り返らせたか
- 新たな学びに児童の目を向けさせたか



- 児童の思考を交流させたか
- 交流を通じて思考を広げさせたか
- 協働して問題解決させたか
- 板書や発問で児童の学びを引き出したか



- 資質・能力を焦点化したか
- 単元や各授業の目標を把握したか
- ねらいを達成した児童の姿を具体化したか
- 教材の価値を把握したか
- 単元及び各時間の計画を立てたか
- 目標の達成状況を評価したか

参考「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の視点について」(国立教育政策研究所)

